

授業科目	* 老年看護方法論				単位	2			
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護)			ナンバリング	NU21316J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2				
担当教員	溝部 昌子、吉原 悦子								
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>老年看護の対象である高齢者を、生活機能を含めて総合的にとらえて看護を展開するための技術を学ぶ科目で、看護の基本から発展した内容を含む。</p> <p>実務家教員として、高齢者看護の実務経験のある教員により、実践的な老年看護のアセスメント技術、ケア技術について教授する。</p>								
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の栄養ケアマネジメントにおけるアセスメントを理解できる 2. 高齢者の排泄自立支援の方法を1つあげ、説明できる 3. 褥瘡予防ケアについて説明できる 4. 視覚・聴覚機能が低下した高齢者への生活への影響を説明できる 5. 高齢者の生活機能・運動機能評価について説明できる 6. 薬物療法を受ける高齢者の看護について説明できる 7. 高齢者のリハビリテーションについて理解できる 8. 認知機能が低下した高齢者への看護について説明できる 9. 高齢者の水分出納について説明できる 10. 高齢者の安全を脅かす要因を説明できる 								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	50	0	45	0	0	5	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)	30		30				60		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)	20		6				26		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)			9			5	14		
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
加齢性の心身機能の変化を踏まえ、高齢者特有の健康障害や療養上のリスクを理解し、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を駆使し、対象を理解することができる。看護問題について対象の意向や状況に応じて設定した看護目標を達成するために、様々なケア方法を検討することができる。					看護における情報収集、アセスメント、ケアの実施について、高齢者特有の事柄に気づき、情報収集できる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1. 栄養ケアマネジメント(溝部昌子) 栄養状態のアセスメント、食事の観察 摂食・嚥下機能の評価 栄養ケアにおける多職種連携 様々な栄養補助食品、経管栄養	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:教科書の該当箇所を確認しておく 復習:講義中示された重要箇所の確実な修得	60
2	2. 排泄の自立支援(溝部昌子) 排尿のアセスメント、排尿日誌、残尿測定 排尿障害 排尿ケア、排尿方法、排尿用具 排便のアセスメント、排便を促すケア	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題(排尿日誌の作成)	60
3	3. 皮膚の保護、褥瘡ケア(溝部昌子) 皮膚のアセスメント、掻痒、保清 褥瘡リスクアセスメント、褥瘡の観察 創傷・栄養・体圧の管理	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題(褥瘡ケア計画の作成)	60
4	4. 感覚機能の低下に対するケア(溝部昌子) 視覚、聴覚機能の低下 痛覚・触覚機能の低下 感覚機能低下と生活への影響 コミュニケーションの工夫	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題(感覚機能低下と生活への影響)	60
5	5. 末梢循環を促進するケア(溝部昌子) 動静脈の加齢性の変化と障害 下肢血流評価 末梢循環を促進するケア	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題(動静脈の解剖)	60
6	6. 運動機能の維持増進のためのケア 高齢者の運動器障害 (溝部昌子) 高齢者の体力、筋力、移動・移乗能力の評価 CS-30、6分間歩行、TUG E-SAS、SPPB、LSA 高齢者の体力測定時の留意点	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題(運動機能評価)	60
7	7. 診断・治療を受ける高齢者の看護 (溝部昌子) 検査を受ける高齢者への留意点 高齢者の薬物動態 手術を受ける高齢者の看護	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で配布された参考資料の精読	60
8	8. リハビリテーション看護(吉原悦子) ICF 国際生活機能分類を用いた対象の理解 対象の強み・目標・援助計画 高齢者の療養とレジリエンス リハビリテーション看護	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題(ICFモデルでの事例分析)	60
9	9. 認知機能の低下した高齢者のケア (吉原悦子) 認知症の分類 認知機能のアセスメント 中核症状、BPSD への対応 非薬物療法としてのアクティビティケア	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で配布された参考資料の精読	60
10	10. 高齢者によくある症状とその対応 (溝部昌子) 心不全の兆候、心不全を予防するケア 誤嚥性肺炎の要因 口腔ケアの様々な方法	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題(誤嚥性肺炎の要因)	60

11	11. 高齢者によくある症状とその対応 (吉原悦子) 高齢者の水分出納 脱水の兆候とアセスメント 高齢者の脱水予防ケア 浮腫の原因とアセスメント 浮腫による二次的な健康障害の予防	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習: 事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習: 講義内で示された課題 (水分出納)	60
12	12. 高齢者の患者安全(丸山泰子) 高齢者の事故とその要因 転倒・転落、誤嚥、スキンテア、溺水、熱傷 薬物療法におけるリスク	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習: 事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習: 講義内で配布された参 考資料の精読	60
13	13. 災害と高齢者(溝部昌子) 災害と循環器疾患、感染症予防 被災高齢者の支援 避難所での健康管理 災害支援ナース	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習: 事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習: 講義内で示された課題 (被災者への支援)	60
14	14. 老年看護の技術(溝部昌子) 褥瘡リスクアセスメント 褥瘡アセスメント 創傷管理技術 包括的下肢血流評価	実習室での実習: 動きやすい服装、 バスタオル持参	予習: 当該講義の復習 復習: 実習ワークシートの完 成	60
15	15. 老年看護の技術(吉原悦子、丸山泰子) 排泄自立支援、残尿測定 嚥下機能評価	実習室での実習: 聴診器持参、膀胱 に尿を溜めておく	予習: 当該講義の復習 復習: 実習ワークシートの完 成	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	加齢性の心身の変化、保健福祉学入門、看護形態機能学、疾病学各論、看護学概論、看護過程論、生活援助技術論、診療関連技術論、成人・老年看護学概論での学修は老年看護学方法論の学びの基盤となります。			

テキスト	小山幸代:老年看護技術 (看護実践のための根拠がわかる),メヂカルフレンド社,2015 大淵 律子:老年看護学—老年看護の実践 (ナーシング・グラフィカ),メディカ出版,2005
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・山田 律子:生活機能からみた 老年看護過程 第3版,医学書院 2016 ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会:嚥下調整食学会分類 2013 など https://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html ・厚生労働省:認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)で推進する主なポイント,2015 http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/nop1-2_3.pdf ・ディペツ
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なアセスメントやケア技術に加えて、加齢による心身変化に対応できる老年看護学特有のアセスメント方法や高度で繊細な技術が求められます。 ・患者さんや家族に説明することをイメージしながら、知識や技術をしっかりと自分のものにしていきましょう。
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(50%)、課題提出9回(45%)、実習ワークシート(5%)が評価対象です。 ・各単元での学修目標は必ず修得しておくべき事柄です。情報を調べ、その意味を理解し、課題の取り組みに活用できていることを課題提出、筆記試験で確認します。毎時の積み重ねの上に最終目標が達成でき、老年看護学実習の準備が整います。